

令和4年 飯田市教育委員会12月定例会会議録

令和4年12月14日（水） 午後 3時00分開会

【出席委員】

教育長	熊谷 邦千加
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	三浦 弥生
教育委員	上河内 陽子
教育委員	野澤 稔弘

【出席職員】

参与	松下 徹
学校教育課長	桑原 隆
生涯学習・スポーツ課長	伊藤 弘
文化財保護活用課長	宮下 利彦
市公民館副館長	秦野 高彦
文化会館館長	下井 善彦
中央図書館長	瀧本 明子
美術博物館副館長兼歴史研究所副所長	牧内 功
学校教育課長補佐兼教育企画係長	代田 暢志
学校教育課長補佐兼総務係長	櫻井 英人

日程第1 開 会

○教育長（熊谷邦千加） ただ今は、中身のある研修をしていただいております。時間になりましたので、日程第1、開会。令和4年12月定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

日程第2 会期の決定

○教育長（熊谷邦千加） 日程第2、会期の決定。12月定例会の会期を本日1日とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） お認めいただき、ありがとうございます。

日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（熊谷邦千加） 日程第3、会議録の署名委員の指名。会議録署名委員を野澤稔弘教育委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

◇教育委員（野澤稔弘） はい。

○教育長（熊谷邦千加） はい、よろしくお願いいたします。

日程第4 会議録の承認

○教育長（熊谷邦千加） 日程第4、会議録の承認。11月定例会の会議録をご覧ください。

確認いただいて何かご意見がありましたらお願いをいたします。

よろしいでしょうか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

日程第5 教育長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） それでは、日程第5、教育長報告事項であります。

別紙のほうをご覧ください。

月日の順番が途中いくらかずれているところがありますけれども、11月・12月は文化に関わるような行事がたくさんありまして、いろんなところに参加をさせていただきました。

「県の縦断駅伝」の壮行会は、一番驚いたのは「3位入賞するかも」と言ったら本当に

3位になったので、びっくりしました。YouTubeで私も拝見しましたし、飯田市の中学生ではないですけども、この飯田下伊那の中学生も頑張ってくれたなっていうふうに思いました。

「伊那谷deキャリア教育」の研修会のほうもご参加いただいて、ありがとうございました。内山 節さんのお話の中で、「都会は次々更新することが光」ってというようなお話があって、「伝統ある地域は、その伝統を積み重ねることで光が増してくる」という話をいただいて、ああ、そういうふうに考えられるのかというふうに思いました。

また、保護司会では、お話をする機会をいただきました。

それから「遠山三校のきずなプロジェクト」の発表会がありまして、これは子どもたちの発表があったんですが、人数が少ないので本当に一人一人が主役という、そういう感じが強くいたしました。

それから、美博で開催された「現代の創造展」。もう終わってしまいましたが、私は、初日に行かせていただきました。ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、様々な本当に素晴らしい作品がいっぱいありましたし、「こういうのが新たな芸術なんだな」っていうことを勉強させていただきました。

それから、つい先日の12月4日は、駅伝やロードレース大会があって、小学生の本当に背のちっちゃい子が速くてびっくりしたんですけど、それこそ40代の女性かなっていう方も汗を流しながら走っておられて、走れることの素晴らしさを感じました。

それから「子どもの本研究会」の全国優良読書グループの表彰で、社会教育委員もされてらっしゃいます永井祐子さんが代表を務めていらっしゃる「子どもの本研究会」の表彰で表敬訪問をいただきました。やはり「今後の後を継いでくださる方をさがしている。どこもそうですが、高齢化が進んでいてというところが課題だ」というふうにお話をされていました。

それから「藤本四八小中高生写真展」の審査がございました。今年はちょっと中学生の出品が少なかったのが昨年よりは少ないんですが、例年並みの点数だということでありました。こちらは審査のお二人の方がとても若々しくていい刺激をいただいたし、子どもたちの撮る写真はどれもよいのですが、特に小学生の写真はいいなと改めて思いました。見方が素直なのでいろいろ考えずに撮っていることが逆に素晴らしい作品だったなって感じました。

2ページ以降は、市議会の代表質問と一般質問で、ムトスぷらざのこと、ウォーキングのこと、あるいは新文化会館の建設のこと、さらには少子化時代における学校の教育環境

のあり方のこと、部活動の地域移行のこと、不登校のことなど、たくさんのご質問、ご意見をいただきました。ペレットストーブのことも出てまいりましたし、インクルーシブ教育のことも出ております。最後は、飯田創造館の廃止のことも出てまいりまして、それぞれに短くまとめられてないところもありますが、またお時間があるところでご確認をいただければと思います。

以上でございます。

日程第6 議案審議（2件）

○教育長（熊谷邦千加） それでは日程第6へまいりたいと思います。議案審議。

本日は2つの議案についてご審議をいただきます。

議案第56号 令和4年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について

○教育長（熊谷邦千加） 最初に、議案第56号、「令和4年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について」。

桑原課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） それでは議案第56号、「令和4年度飯田市就学援助費支給対象者の認定について」でございます。

認定の対象者につきましては、別紙でご用意をさせていただいたとおりでございます。

それぞれ記載いたしました認定要件にて、ご認定をいただきますようご提案申し上げます。よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明がありました議案第56号につきまして、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

それでは議案第56号について、ご承認ということでよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

議案第57号 飯田市文化財の指定について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして議案第 57 号、「飯田市文化財の指定について」。

宮下文化財保護活用課長。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長（宮下利彦） それでは定例会資料 5 ページをご覧ください。議案第 57 号、「飯田市文化財の指定について」をご説明申し上げます。

本案は、飯田市文化財保護条例第 2 条の規定によりまして、下記の物件を飯田市民俗文化財として指定をしたいとするものでございます。

資料 1 番の指定する物件の名称であります、「立石寺立石柿絵馬 2 点」となります。

内訳は、「板絵着色江戸柿問屋絵馬」が 1 点と「板絵着色立石柿出荷天竜川通船絵馬」で
ございます。

所在地及び所有者は、飯田立石 140 番地、立石寺、須永晃仁住職となります。

指定の根拠・区分は、「飯田市民俗文化財 6 信仰に用いられるもの」のうち、「2（2）この地方の地域的特色を示すもの、（4）この地方の職能の様相を示すもの」に該当する物件となっております。

提案の理由は、本物件の飯田市文化財指定につきまして、令和 4 年 11 月 15 日に開催をいたしました、飯田市文化財審議委員会へ諮問をいたしましたところ、同日付で「飯田市文化財に指定することが適当である」旨の答申をいただいております。については飯田市民俗文化財として指定をすべく、本定例会へ提案をするものでございます。

続いて物件について少し補足説明をさせていただきます。資料 6 ページをご覧ください。

本物件の絵馬は 2 点とも縦横 1 メートルを超える大きな絵馬となっております、制作年代は江戸時代後期となっております。

調査の結果は、資料 6 ページの下段から 7 ページに渡って書いてございますが、「Ⅲ、立石寺立石柿絵馬 2 点の価値」の項で、3 点にわたり記述をしてございますが、内容を少し簡単に整理をいたしますと、立石柿が当地域から江戸に運ばれますまでの間に多くの人々に関わる様子であったり、江戸後期の当地域の土地の様子、流通の様子といったことをうかがい知ることができる当地・当市にとって貴重な絵馬であると評価をしております。

また、8 ページ以降は、絵馬の写真、読み取り図を参考として掲載をしてございますので、ご覧をいただきたいと思っております。

説明は以上となります。

ご審議のほどよろしく申し上げます。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明がありました議案第 57 号につきまして、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いをいたします。よろしいでしょうか。

(「ごさいません」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) ありがとうございます。

それでは議案第57号について、ご承認ということでよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長(熊谷邦千加) はい、ありがとうございます。また機会があれば実物を見たいですね。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長(宮下利彦) よろしくお願ひいたします。

○教育長(熊谷邦千加) ありがとうございます。

日程第7 協議事項

○教育長(熊谷邦千加) それでは日程第7、「協議事項」に入ります。

(1) 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組について

○教育長(熊谷邦千加) (1)「少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組について」。

代田学校教育課長補佐。

◎学校教育課長補佐兼教育企画係長(代田暢志) 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組ということで、今後の予定について説明をさせていただきます。

資料の10ページをご覧いただきたいと思います。

今回、今後の予定ということで保護者アンケートの実施、それから教育情報誌「h a g u」の発行について簡単にご説明をさせていただきます。

まず、保護者アンケート実施につきまして、この保護者アンケートの対象者ですが、小学校・中学校に通う保護者、それから保育園・幼稚園、また認定こども園に通う年中・年長の保護者を対象としてアンケート調査を実施してまいります。児童生徒一人一人について、回答をいただくということで予定しておりましたが、園と小学校、中学校それぞれの各施設に家庭内、複数通う場合についてはその各施設について一人1回の回答に変更をいたしました。また、居住地域や学校名について、それから児童生徒の学年も記載のほうをお願いしておるところであります。つきまして、アンケートの結果についての分析についても、小学校・中学校別々に集計をとらせていただきます。

また、アンケートの設問内容につきましては、前回、前々回の定例会でもアンケートの内容を見ていただいたんですけれど、学校の特色・魅力についてということで3項目、学

校の規模についてということで、この中には統合等の必要性についても含みまして4項目、また教育環境づくりの取組についてということで自由記載を含みまして全部で4項目、合わせて11項目の設問を考えておるところであります。

また、アンケートの実施時期につきましては、令和5年1月ということで、当初二学期までの実施を予定しておったところなんですけれども、教育情報誌の「H a g u」の編集も今、最終校正に入っております、ちょっと時期的に遅れておるんですけれども、来年、令和5年の1月実施ということでお願いしたいと思っております。

その他につきましては、前月までの定例会、それから取組研究会を2回開催しておるんですけれども、そのときの意見も参考にアンケートを修正させていただいております。学校別の保護者の意向が現れるということについて、一人1回の回答の依頼。それから誰もが取組がイメージしやすく分かりやすい表現方法に修正をさせていただきながら、アンケートの実施をしていきたいというところでもあります。

続いて、教育情報誌「H a g u」の発行についてとなります。

この情報誌の内容につきましては、少子化や施設の老朽化の子どもたちへの影響、それから検討を進める上での大切にしたいこと、検討の進め方、これからの学校づくりの例、こういったものを記載させていただいて、分かりやすい表現方法を使いながら編集をさせていただいております。

また、表のページにウェブサイトによる学校現場の詳細ということで、ウェブサイトには飛ぶようなことを予定しております、これには令和4年度の学校の児童生徒数、学級数の一覧、建築年の一覧、それから編成基準、こういったものを詳細に分かるようにウェブサイトのほうへ飛ぶように編集をさせていただいております。

また、この情報誌の発行につきましては、小学校、中学校の保護者、それから園の保育園・幼稚園・認定こども園の年中・年長児ということで、アンケートの対象と同じ方々に配布ということを予定しています。

発行期日につきましては、令和5年の1月ということで、アンケート調査に合わせて、発行したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それから11ページになります。ロードマップということで、これも前回の定例会のほうでご覧いただいておりますけれども、若干、修正箇所が取組研究会でありましたので、最新のものに直させていただいたものを今回資料として付けさせていただきます。

特にあり方の審議会ということで、令和5年度、6年度の中段の「あり方審議会（仮称）」とあるんですけど、ここに諮問・答申という形で矢印が出ておりますけれども、「この諮問・

答申の特に答申の形が、矢印の示す方向がというところで読みにくい」という、ご意見がありましたので、ここは教育委員会が諮問をして、また教育委員会に答申が返るということで、整理をさせていただきました。

続いて 12 ページになります。令和 4 年度の下半期のスケジュール一覧ということで、こちらにつきましてもアンケートの調査の関係、それから「H a g u」の発行、それから研究会ということで、スケジュールをまとめさせていただいております。最新ということで、本日現在までの進捗、それから今後のスケジュールについてまとめさせていただいておりますので、ご覧いただきたいと思います。

簡単ではありますが、以上になります。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

それでは、ただいまの少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組ということで、アンケートが 1 月に遅れるということでもあります。あるいはロードマップのほうももう一つ整備し直したということでもあります、ご質問、ご意見いただければと思います。いかがでしょうか。

はい、北澤委員さん、お願いします。

○教育長職務代理者（北澤正光） 1 点教えてください。

10 ページのところの 2 番の「H a g u」の発行のところ、(1) の 2 つ目のポツですが、「ウェブサイトによる学校現場の詳細」となっていて、見ようと思えば見られますというようにするという話で、令和 4 年度のもので載るということは分かったのですが、前に「10 年後、こんな人数になってしまいます」という、「こんな人数に」というのはちょっと語弊があるかもしれませんが、こんなふうになりますというのも、学校ごとの懇談会のところで審議資料にあったような気がするのですが、令和 4 年度のものだけではなくて 10 年後の予想のものもデータはあるので、載せるという計画はあるのでしょうか。

○教育長（熊谷邦千加） はい、代田学校教育課長補佐。

◎学校教育課長補佐兼教育企画係長（代田暢志） すみません、説明が不足しておりますて申し訳ございません。

令和 4 年度現在において、各学校の児童生徒数、それから学級数の一覧、それからこの一番最後のところに学校別の児童生徒数とあと学級数の推移ということで、これにつきまして平成元年から令和 9 年、この予想について、児童生徒数の数字を載せたもの一緒に掲載したいと思います。これにつきましては、開いていただければ全部の学校が 28 校分全部が分かるように、そんな表を保護者の自宅のほうでご確認できるというふうになります。

それから、この「H a g u」とアンケートの発行に合わせまして、それぞれの学校について、学校の様子ということでワンペーパーに建築年度一覧と、それから当該の学校の平成元年から令和9年までの児童生徒数の推移、学級数の推移というものを別に配布を予定しておりますので、お願いしたいと思います。

○教育長職務代理者（北澤正光） ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） グラフになっているんですね、こういうふうに。

はい、さらにいかがでしょうか。

「H a g u」やアンケートは、検討すればするほど課題が見えてまいりまして、修正に修正を重ねてっていう状況であります。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

日程第8 陳情審議

○教育長（熊谷邦千加） それでは、日程第8、陳情審議。陳情審議は今回ございません。

日程第9 その他

○教育長（熊谷邦千加） 続きます、日程第9、その他。

（1）教育委員報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （1）「教育委員報告事項」。

それでは、教育委員さんのほうからそれぞれ報告事項あれば、ご報告いただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

はい、三浦委員さん。

◇教育委員（三浦弥生） 今日は視察研修をありがとうございました。

本当に地元において知らないところをしっかりと見させていただいております。

この教育委員会の視察研修で静岡あれば磐田市でしたっけ、静岡に行かせていただいたときに「麻績学校があつて古い学校ですよ」って聞かれたときに、「そうですか」っていう形で自分の知らないというような、そんな経験もいたしました。今日はそんなところ、歴史も含めてまた中を見せていただいといるところ、地元を知る機会になりました。

そして操り人形館ということですがけれども、そちらのほうも全く知らないといったとこ

ろを見させていただいております。本当、歴史も存じ上げないというような形でした。そんなところをしっかりと地元を知った上で、様々外をまた見ていきたいと、そんなことをまた教育というものを考えていきたいなというように感じました。

また、もう一つ、11月25日に第4回新文化会館整備検討委員会に出させていただきます。今日、資料のほうを置いてきてしまっていますので、ちょっと言葉足らずかもしれませんが、有識者の方の講演をお聞きしたりですとか、特別な対談ということでお話を傍聴させていただいております。

そんな中では、リニアが来たときということで、自分がいろいろイメージしながらというと、大きな本格的な会場での様々なものは自分たちはそっちへ見に行くんじゃないかななんてことを考えました。そうすると、自分たちのこの地域には、自分たちも使えるような規模のものが適した場所に設置されて、でも小さくあっても専門的な機材が使える、そんな豊かさがあれば良いのかなというところを感じました。

また、お話の中には言葉がそうだったでしょうか、ちょっと今日メモがありませんが「これからは大きくいろいろ考えたものの夢を削る作業といったものがありますかね」というようなお話があったかと思います。この言葉は、私も小っちゃい話ではありますけれども、自分の家を新築するときに設計士さんから、「夢を削る作業」という言葉を言われました。でも、それはとても素敵な作業じゃないかなというふうに思っています。本当に今ある大切なものに気づくといったことができますし、先にある未来を具体的に考えるといったことにつながっていくかなと思います。

飯田市には本当に市民が行っている「オケ友」というものもありますし、「人形劇フェスタ」というものがあります。たくさんの方に私たち市民が取り組んでいる。そういう大切なものに気づいて、これから先どんなことをやっていきたいかなってということで具体的に考えたときに、私たちの本当に適したそんな新文化会館というものが出来上がるのかなあと思っていて、その会の傍聴をさせていただきました。

また、そういった委員の方々がどんなふうに話合われたのかなというように注視してまいりたいと思いました。ありがとうございました。

○教育長（熊谷邦千加）　ありがとうございました。

続いてございますか。

野澤委員さんお願いします。

◇教育委員（野澤稔弘）　先月の定例会、欠席させていただきましたすみませんでした。ちょっと同時進行で、県教委のほうから高校再編の話で、産業界の意見を聞きたいということで、

そちらのほうの代表として向こうの話合いに参加させていただいていました。

「地元に戻ってもらいたいですね」という基本的な路線はそういう路線なんですけど、ですけれども、「キャリア教育というのを小中高という形で推進していますので、その部分でしっかり教育の中で地元というものに回帰できるような、そういうものをキープしてほしい」と、「そういう中での再編をぜひお願いしたい」ということでお話をさせていただいた次第であります。

それが1つ目で、2つ目が先日、県知事が来て、「教育委員として質問してくれ」という話だったので、リニア整備の話なんですけど、「それについて何か意見がないか」ということで話をさせていただく中で、「この南信地域の教員の配置がやっぱり非常に不均衡にあるのは、この地域に四年制の大学がないというのも一つの要因じゃないか」と、「なので、このリニアが開くときに四大をこちらに誘致していただければ、そういう不均衡も是正できるんじゃないか」ということで、知事のほうには申し入れをさせていただきました。

知事は「長野県自体が教育の不均衡にあるので、この地域だけではないという認識ではいるけれども、リニアが開通するのを一つの契機として四大をこちらに持ってくることに関してはできるだけ力強い応援をさせてもらいたい」と、そんな話だったかというふうに思いますので、この場で報告をさせていただきます。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

では、上河内委員さんお願いします。

◇教育委員（上河内陽子） 伊那谷文化芸術祭と現代の創造展、続けて見せていただきました。

伊那谷文化芸術祭では、浪合小の神楽を見たんですが、小さな子どもたちから溢れるような張りのある声が出て、大舞台上で演じることが子どもたちにとってもすごくいい経験になっているんだろうと、内容も面白くて引き込まれました。

現代の創造展は、わが家の三世代で見に行ったんですが、それぞれお気に入りの作品を見つけることもできるような本当に豊富な作品群に触れあうことができ、じかに見ることができ、鑑賞させていただきました。多くの方々のご尽力があってこうして文化芸術に触れられる機会があるなあと、本当に感謝した次第です。いいなと思いました。ありがとうございました。

それから1つ、昨日、猿庫の泉に水を汲みに行った時のことです。ちょうど一緒になった方が岡崎から来ている白髪の高齢の方だったんですが、「1カ月に一遍くらい3軒分の水を汲みにわざわざ猿庫まで汲に来ている。百名水の中でも一番柔らかい水で本当におい

しい。いい水を飲んでいたりそれでお米を炊いていると、水道水に戻したときにその違いがすごく分かるから、もうこれは止められない。」と言って汲みに来ていらっしゃる方がいて、そういうお話を聞いて、身近にあるこの水が本当にどれだけおいしい水なのかということに改めて感じました。大事な水だなあとというふうに改めて感じたお話です。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

それでは北澤職務代理をお願いします。

○教育長職務代理者（北澤正光） 重なるところもあり、質問もあります。質問に関しては1つ目のところなのですが、11月24日、長野県学校給食会とって県内の給食センターにいろんな資材を提供している法人格を持った会なのですが、その評議員会があつて出席してきました。

その中で、結論から言うと値上がりという話なのですけれど、今年度については主食の米とか小麦について、当初の提示した価格でずっと提供してきたと。それでなおかつお米は全部地産地消を目指しているの、例えば飯田市の場合だと多分飯田の地元のお米を使っているということだと思いますし、小麦についても県産と北海道産で100%、要するに国産小麦で100%提供してやってきていて、今年度については値上げをしないということやってきた。ところが、長野県産米は全国的には評判が良くて、非常に需要が高いのだそうです。そうした状況を鑑みると、「肥料代とかガソリン代の高騰に合わせて、来年度からは値上げをせざるを得ない」というような話。それから「一般物資についても、今年も時々に合わせて若干の値上げをしてきたけれども、極力安いときに大量に仕入れて提供するという形でやってきている」と、そんな話でした。

確か11月20日頃でしたかね。テレビで高陵中学校の給食室の今年度のご苦労と申しますか、要するに諸物価値上がりの中で極力おいしい給食を提供しようと苦労されている栄養士さんのご苦心と工夫がテレビで放映をされていました。

来年度については、値上げせざるを得ないという状況があるという中で、質問したいのは、飯田市の今年度についての給食費の状況、それから来年度以降の見通しといったようなところがあれば教えていただきたいというのが1点目です。

次からは質問ではないのですけれど、皆さんと重なりますが、同じく美博の創造展、今年第23回ですけれど、私は多分ほぼ1回も欠かさず創造展が始まったときからこの展覧会だけは見させていただいて、年々工夫されながら今年も150名近い作家さんたちの作品が展示されていました。一昨年ごろからうれしいなあと思っているのは、全作品ではない

ですけれど、作家さんが制作意図をコメントを付けて展示してくれてあるので、素人なんかの者が見るときには「ああ、こういう意図でこれ描かれているんだ」とか「こんな思いで描かれたんだ」とかが分かって、とっても楽しいというか、興味をもって見させてもらいました。いずれにしても長年続いている発表の場があるということは、素晴らしいことだと思っています。

それから、公民館のほうで開いていただいた市民大学講座、11月26日でしたか、最終講座を聴講させてもらいました。

ちょうどさっき見てきた麻績校舎のことも扱われての講座でしたけれども、こちらも本当に熱心な参加者の皆さん多くて、美術博物館の創造展のほうとはまた違う分野で熱心に学ばれている姿を見て、これもまた素晴らしいことだと思いました。

それでさっき三浦委員からありました11月25日、新文化会館の整備検討委員会の傍聴をさせていただいたのですけれど、それも今、前段のほうで申し上げてきたような芸術とか文化とか歴史とか、そういうことに非常に熱心に関わっている方々が多いということを受けて、新文化会館の建設についてどういう目的に対応して、どういう機能を持った文化会館を造っていくのがいいのかといったことは、改めて考えてみるにしても、未来の飯田市のまちと一人一人の市民にとってのポイントになる部分かと思って、難しいことではあるけれど、その辺を十分に熟議を尽して将来に向けてよりいいものが造られればいいなというふうに思いました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

ご質問いただいた給食費の状況、また来年の今後の見通しということですが。

桑原学校教育課長。

◎学校教育課長（桑原 隆） 給食費は、その材料費だけ保護者の方からいただいているということで、小学校・中学校、単価違いますが、一食当たり大体300円前後ということで、集金をさせていただいております。

今年度の給食費の状況なんですが、昨年度末から値上がり始めて、今年度初めの4月・5月辺りの試算では一食当たり13円くらい、去年よりいろんな材料合わせてトータルで高騰しているということが分かりましたので、元々は国の交付金事業なんですが、物価高騰の緊急対策ということで、調理場に一食当たり13円を補助するというので、間接的には保護者の方への支援をするということで、給食費は値上げせずに、今年度その措置は3月まで補正で延長いたしましたので、今年度末までは値上げせずにいけそうという状

況です。

その補助自体、来年度はどうなのか分かりませんが、材料費自体全てのものが上がっておりますので、これから 12 月くらいまでの使った実績をもとに来年度の給食費を、まずは栄養士が中心となって計算をしていくこととなりますが、材料費が上がっていますので、給食費そのものとしてはちょっと金額がいくらになるか分かりませんが、5 円とか 10 円、いままでの例ですとそのくらいになるかと思いますが、値上げは避けられない状況かなあと思っています。

来年度どのような対応をしていくのかは、これからの新年度予算の中でも併せて検討していくということになっています。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） 今のところに関してどうですか。

○教育長職務代理人（北澤正光） なんとも世の中自体がこういうふうになっているので、コメントのしようがない無力さです。それから補助と言っても、補助できることにも限度がある。受益者負担という話になれば、結局、その値上がり分は保護者負担というような話になっていくのかというようなことにしか、今の段階で自分の中にも意見のもちようもないのですけれど、状況だけはお聞きしておきたかったのです。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

今、報告それぞれいただきましたが、今のように何かご質問あれば後でお出しただければと思います。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

（2）参与報告事項

○教育長（熊谷邦千加） それでは（2）番、「参与報告事項」に入りたいと思います。

◎参与（松下 徹） 特にございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（3）学校教育課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（3）番、「学校教育課関係報告事項」。

◎学校教育課長（桑原 隆） 特にございませんが、本日、専門幹がちょっと体調を崩して休ませていただいております。よろしくお願ひします。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（４）生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、（４）「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」。

伊藤課長、お願いします。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 本日の資料 13 ページをご覧いただきたいと思います。

飯田市のキャリア教育の推進フォーラムについては、ここ 2 年ほどコロナの状況もありまして開催できておりませんが、今年度から幼児期から高等教育まで切れ目のないキャリア教育ということで、新しい体制をつくりながら取り組んできておりますので、そういったそれぞれの発達段階の取組を事業者の皆さんを含めて共有する中で、新しいスタートということでそんな会を開催してまいりたいと思っております。

記載の 2 番のとおり、年明けの 2 月 11 日に鼎文化センターのほうで開催をしてみたいと思います。

4 番の後援のところの一番最後に「飯田市保育協会」ということで記載がありますが、こちらも自然保育等を含めて一緒に取り組みたいということでお申し出をいただいて、そんな体制になっております。

大まかな内容は、5 番に記載をしてありますけれども、全体の進行は「結いジュニアリーダー」に参加した中学生主体に進行してまいりますが、全体の会については信州大学の荒井英治郎准教授にご指導いただきながらということ考えております。

開会にあたりまして、三行詩コンクールの入選作品、各部門 1 点ずつになりますが、今年度は総合教育会議の中でも、お手伝い等、家庭のキャリア教育っていう部分もありますので、表彰の伝達を行いスタートを切りたいと思います。

大きくは 2 部構成でございますが、第 1 部ではそれぞれの発達段階に応じた実践の取組を発表いただくということで予定をしております。第 2 部では関係する教職員の立場から、それから事業者の立場の方、それからキャリア教育に見識のある方っていう 3 名ほどを予定しておりますけれども、第 1 部の取組も踏まえて、こういうパネルディスカッションという形で進めてまいりたいというふうに思っております。

あと、教育委員の皆様方には、封筒の中に改めてお願いの通知と当日配る予定のパンフレット、それから全体の会議、2 月 11 日の出欠のご報告いただきたいということで、資料をお配りさせていただいておりますので、また来月の定例会でも大丈夫でございますし、ご予約がもしお決まりであれば本日も結構でございますが、出席の可否についてご報告

をいただければと思います。

説明は以上です。

よろしく申し上げます。

○教育長（熊谷邦千加） 質疑応答につきましては、最後のところでまとめてお願いしたいと思います。

（５）文化財保護活用課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（５）「文化財保護活用課関係報告事項」。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長（宮下利彦） 特にございませぬ。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（６）公民館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （６）「公民館関係報告事項」。

秦野副館長。

◎市公民館副館長（秦野高彦） 資料はないんですけれども、ご報告とご連絡をさせていただきたいと思ひます。

先ほどの教育長の報告のところにもございましたけれども、12月24日の日にムトスぶらぎのクリスマスということで、ふらっと会議と言ひまして有志の皆さんが集まって、月1回いろんなことを話し合いながら自分のやりたいことを実現していこうというようなことを話している会議がございますけれども、その会議の皆さんが中心になりまして、24日の10時から3時まで様々な催しですとか、自分たちの活動発表をする場を設けております。

今、具体的になっているところは、橋北の屋台囃子ですとか、音楽ライブですとか、あとアートワークショップ、芸術家の皆さんのワークショップですとか、国際交流の関係で外国籍の方々のダンス発表だとか、あと平和の種プロジェクト、ひまわりで油を採ってというプロジェクトを行っておりますけれども、その皆さんの発表ですとかということで、多彩に行いたいというふうに考えておりますので、もしお時間がございましたらご来場をお願いしたいというふうに思ひます。

実は今夜、最終のふらっと会議がありまして、その場でさらに内容を詰めたいて考えておるところでございます。

もう1点でございますけれども、来年の1月8日に「二十歳の集い」を開催するというところで今、進めておるわけですが、現在800名余の出席者というふうになっておりま

す。ただし、コロナ禍ということもございまして、来賓の皆さんや参加者の皆さんを当事者になります成人以外の参加者をかなり絞らせていただいておりますので、本来お呼びをして拝見していただきたいというところもございまして、地区によっては今年のご来賓を呼ばないというところもございまして、ご承知おきをいただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（7）文化会館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （7）「文化会館関係報告事項」。

下井館長。

◎文化会館館長（下井善彦） それでは先ほども少し触れていただきましたけれども、11月25日に新文化会館整備検討委員会を開催いたしました。講演会、勉強会ということで開催しております。

「リニア時代を見据えた文化会館のあり方」というテーマで、全国事例に詳しい草加叔也さんにお話をいただきました。その後、委員の方々とパネルディスカッションということでございました。

参加された方々としては、整備検討委員の方、ほかには市議の方、それから教育委員さんも参加いただいております。ありがとうございます。

皆さん、概ね好評をいただいております。たくさん内容があったわけですが、いくつか拾い出したいと思っております。劇場としての全国的な傾向としてだんだん役割が変わってきたということがございました。「まちをつくる」、「人をつくる」、それから「賑わいをつくる」、こういったことも劇場としての、公設、公的な劇場ですが、その役割になったというところ。それから「人をつくる」という意味で少し関わりがあるとすると、「観客をつくる」。創客っていうような表現がありましたけれども、観客をつくっていくことも大事でしょうっていうことがございました。

あと飯田のことについて、リニア時代を迎えるということで、先ほどもありましたけれども、「飯田らしさ、オンリーワンをどうつくっていくか、これが大事だね」っていうこと。それから、「リニアが走るということは、時間距離が非常に短くなっていく。ここをどう生かしていくか。戦略的に捉えていくか。これが大事だろう」ということもお話にありました。「名古屋や東京が近くなるっていう、そういうことはこちらから出かけるということも

1つあるだろうし、逆に舞台をつくっていくということであるとすると、都会からそういったプロデューサーを呼んでくる、こういうこともあるんじゃないか」ということもございました。それから、具体的には「席数で大きな催し物が来るわけじゃないよ」と。やはり舞台の造作ですね、「舞台の設備がやはり重要じゃないの」という、そんなお話もございました。

そんなたくさんのお話をいただきましたけれども、現在、検討委員会としては基本理念を仮置きしましたというところでもございまして、2月に予定しております次回の検討委員会では理念から構想へどうつないでいくか、理念をどう活動につないでいくかということで話し合いをしていくと、こういう予定でございます。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（8）図書館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、（8）「図書館関係報告事項」。

瀧本館長、お願いします。

◎中央図書館長（瀧本明子） お願いします。

最後の15ページ、資料No.3をご覧ください。よむとす事業の報告及び予定ということで記載してございます。

報告の中の（2）ですが、昨年度に引き続き、鼎公民館と一緒に行了ました「鼎ナゾとき探偵団」の中学生の行ってみての感想が記載してあります。中学生が大人の方と一緒に現地へ行ったり本で調べたことで興味が深まったり、地域のことで知らなかったことに気づいたりといったような内容の感想をいただいておりますので、またお読みいただければと思います。

（3）以降につきましては、分館を含めまして各図書館の本や図書館に親しんでいただくための取組が記載してございますので、またご覧ください。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（9）美術博物館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（9）「美術博物館関係報告事項」。

牧内副館長。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） お配りした「1月のびはくにゅーす」を
ご覧いただければと思います。

先ほど教育長からお話がありましたけれども、12月8日に藤本四八小中高校生の写真の
審査会を行いまして、1月15日には左下にありますように表彰式を開催いたします。その
後4週間、美博のロビーで展示をしますので、またぜひご覧いただきたいと思います。よ
ろしく願います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(10) 歴史研究所関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして(10)「歴史研究所関係報告事項」。

牧内副所長、願います。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） お配りしました、歴研ニュースをご覧い
ただければと思います。

一番最初は9月にございました、地域史研究集会のまとめという形で概要としてまとめ
てございます。また、中は今回は講座のほうはございませんで、資料だとかエッセイだど
かゼミの紹介等あります。また、お読みいただければと思いますので、よろしく願いい
たします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

ただいま報告事項につきまして、質疑応答に入りたいと思います。ご質問、ご意見等あ
りましたら願いをいたします。

野澤委員さん。

◇教育委員（野澤稔弘） 文化会館のあり方のところで、「飯田らしさ」という言葉が出てくるん
ですけれども、先般、産業振興審議会でもいろんな産業の中でどうしてもそういう言葉が
出てくるんですが、「具体的に何」っていうとまだぜんぜん練られてないっていうのが実態
で、本当にその文化会館を、飯田らしい文化会館ってなんだろうかっていうのを具体的に
考えていかないと、なんか「総花的に飯田らしいね」っていう多分とんがってなくて、リ
ニアができて例えば飯田の文化会館で何かイベントがあったときに、じゃあ東京や大阪や
名古屋のそこらにある文化会館と似たようなものであればあまり意味がないというふう
に思うので、その「飯田らしさ」っていう言葉に満足せずに、どういうものが飯田らしいの

かっていうのを、ぜひ議論してもらいたいと思いますので、今後またそういうところをよろしくお願ひしたいなあと思います。

○教育長（熊谷邦千加） はい。それに関して何かありますか。

◎文化会館館長（下井善彦） ありがとうございます。

まさにそこがこれからの議論の中心になるだろうと思います。ベースなところは既に何回かお話をしをてきてますけれど大事なところだと思います。

活動の仕方として、その文化会館の使い方ということで実行委員会、市民が支える、裏方になったりとかそういうことは特徴的には現れているんですけども、やはりこれからのリニアを踏まえたときに、本当にどういうところでやっていくかっていうのは議論になっております。

○教育長（熊谷邦千加） はい。ぜひそんな点でも教育委員会のほうでもご意見をいただけるとありがたいなあと思います。非常に大事な部分じゃないかなと思います。

関わってございますか

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） それ以外のことでいかがでしょうか。よろしいですか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

（11）今後の日程について

○教育長（熊谷邦千加） それでは今後の日程について

櫻井学校教育課長補佐。

◎学校教育課長補佐兼総務係長（櫻井英人） よろしくお願ひします。

2月はいくつも会議がありますので、少し先まで記載しました。

まず最初に、来週 19 日、飯田市教頭会が上郷公民館で行われますので、職務代理は出席をお願ひしたいと思います。

1月定例会は1月 17 日、こちらも上郷公民館で行います。研修会がありますので、また改めてご通知を差し上げたいと思います。

2月になりまして、2月7日に小中連携・一貫教育推進委員会、会場未定でございます。また、会場が決まりましたらご通知申し上げます。

2月10日が2月の定例会で、市役所で行います。

記載がありませんが、11日が先ほどの飯田市キャリア教育推進フォーラムとなります。

19日は飯田市公民館大会で、飯田文化会館で行うということでございます。

そして20日には、今年度第2回目の総合教育会議がございまして、ムトスぷらざで行うよう予定しておりますので、ご予約をお願いいたします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。日程について何かご質問、ご意見ありますでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

本日予定された議案等はこれで全てであります。何かご発言があればお願いいたします。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） では私のほうから、今度のムトスのクリスマス会のことでお聞きしたいと思いますが、24日に10時から3時までということで、先ほどちょっとご紹介いただいた、どんな参加団体が何時頃出るのかとか、そういうのはどこかで出るのでしょうか。

○公民館副館長（秦野高彦） 今日確定させていただいて出す予定でございまして。

○教育長（熊谷邦千加） 分かりました。では、それを教育委員さんのところにも何かしらでお知らせできますか。

○公民館副館長（秦野高彦） 分かりました。ご連絡差し上げるようにいたします。

○教育長（熊谷邦千加） はい。創発の結構大きな行事になるのかなあという期待をしております。

ほかよろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

日程第10 閉会

○教育長（熊谷邦千加） では、日程第10、閉会。

以上をもちまして、12月定例会を終了とさせていただきます。

ありがとうございました。

閉 会 午後 4時00分